

2016年5月11日

報道関係各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

W3C(ワールドワイド・ウェブ・コンソーシアム) と IDPF (インターナショナル・デジタル・パブリッシング・フォーラム) が両組織の統合を検討

W3C と IDPF は 2016 年 5 月 10 日 (米国イリノイ州シカゴ現地時間)、オープン・ウェブ・プラットフォーム上における出版テクノロジーの進歩を加速させるために組織を統合させる計画があることを発表しました。

シカゴで現地時間 5 月 10 日～11 日に開催される Book Expo America(BEA)2016 の場で実施された IDPF DigiCon の基調講演後、ウェブの発明者であり W3C ディレクターのティム・バーナーズ＝リーと IDPF 事務局長ビル・マッコイ氏がこのプランを明らかにしました。

「われわれ W3C と IDPF は、出版業界とウェブの根幹技術を同一線上に揃えるというビジョンを歓迎します。これによってリッチ・メディア環境が多くの電子出版の読者、著者、出版社へと提供されるようになります。教科書を例に考えればわかりますが、今や教科書の内容は映像や画像とリンクして、歴史的な事件やオリジナルの研究結果とどんどん結びつき始めています。これによって学ぶ側も教える側も、より信頼性があり興味深い学習体験を得られるのです。」とバーナーズ＝リーは語りました。

「ウェブ・テクノロジーを基本にコンテンツ制作、配信、閲覧が世界中で進むことによって、それが EPUB* であっても、ソーシャルマーケティングや読者参加体験のためであっても、どんなデバイスやアプリや読書端末でも実行可能になります。」とマッコイ氏は語りました。

※IDPF が策定した、電子書籍におけるファイルフォーマット規格。

1. W3C と IDPF の資産を結びつけウェブ出版のビジョンを可能に

W3C と IDPF の代表は過去 3 年間、いかにして出版業界の技術や専門知識でウェブを豊かにし、またウェブの技術によって出版業界を豊かにする事が可能かということについて、すでに共同作業を進めてきたことが発表されました。

「W3C との合流により、IDPF が出版業界のために果たした EPUB 仕様の開発と成功の実績が W3C のウェブの知識・標準と補い合い、映像や音声を含めたリッチ・メディアにアクセスが可能になるという見通しを歓迎します。」こう語るのは IDPF 会長のジョージ・カーシャー氏です。

W3C CEO ジェフリー・ジャフェ博士も「電子出版分野の全面的な関与と、ウェブプラットフォームの中軸となる開発者の力が合わされば技術標準の作成が加速できます。創生期のウェブ技術では、著者や出版社が書籍、定期刊行物、雑誌として実現したコンテンツを、さらに拡張したスタイルには適合できませんでした。」と語っています。

2. 両組織の統合に向けた次のステップ

目標を 2017 年 1 月とし、両組織は統合に向け、これから会員のコメントを募集、両組織の参加資格や法的な競合チェックなど、細部を詰めていき、合意覚書の作成作業に着手します。将来の EPUB の技術標準開発、オープン・ウェブ・プラットフォームでの出版機能拡張は W3C として進められることとなります。

3. W3C (ワールド・ワイド・ウェブ・コンソーシアム)について

W3C(ワールド・ワイド・ウェブ・コンソーシアム)は、ウェブ標準化の開発を目的とし、会員組織、フルタイムスタッフ、および公的団体が連携する国際的なコンソーシアムです。W3Cは、ウェブの長期的な成長の確保を目的としたウェブ標準およびガイドラインの作成を通じ使命に尽力し、現在、400を超える組織が本コンソーシアムの会員として参加しています。

W3Cは、米国 MIT Computer Science and Artificial Intelligence Laboratory (MIT CSAIL : マサチューセッツ工科大学計算機科学人工知能研究所)、フランス European Research Consortium for Informatics and Mathematics (ERCIM : 欧州情報処理数学研究コンソーシアム)、北京航空航天大学 (Beihang University)および日本の慶應義塾大学により共同運営しており、オーストラリア、ベネルクス諸国、ブラジル、フィンランド、フランス、ドイツ、オーストリア、ギリシャ、ハンガリー、インド、イタリア、韓国、モロッコ、ロシア、南アフリカ、スペイン、スウェーデン、英国、アイルランドの各国にW3C オフィスを設置しています。詳細は <http://www.w3.org/>をご参照ください。

4. IDPF について

IDPFは電子出版ビジネスの世界的な普及と標準化の発展促進のために組織された団体です。参加者には出版社、IT企業、出版業界団体、官庁、教育関連組織などが含まれています。IDPFは電子書籍の交換・配信用標準フォーマット EPUBの開発者でもあります。詳細は <http://idpf.org>をご参照ください。

〈問合せ先〉

慶應義塾大学SFC研究所W3C事務局
TEL 03-3516-2504 FAX 03-3516-0617
E-mail : keio-contact@w3.org

〈配信元〉

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室学術研究支援担当
TEL 0466-49-3436
E-mail: kri-pr@sfc.keio.ac.jp